

教科 (保健体育) 科目 (体 育) 学年 (3) 單位数 (2)

類型 (共通 ・ 文 ・ 理)

履修規定 (☒ 必修 ☐ 選択)

学習の目標		使用する主な教材					
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。		・教科書『現代保健体育』 大修館書店 ・その他『現代保健ノート』 大修館書店					
期	月	学 習 内 容	学習の具体的内容とねらい	主な評価の観点			
				①	②	③	④
一 学 期	4	オリエンテーション	・授業の内容、方法、評価などについて理解する。 ・集団としての個々の役割やルールの厳守、安全管理の必要性を理解するとともに、その実践を行う。 ・ゲームで通用する投球技術や守備力・攻撃力を高める。審判法も学び、協力して安全にゲームできるようにする。(ソフトボール)	◎	○		
	5	集団行動			◎		○
	6	ソフトボール (男子)			○	◎	
	7						
二 学 期	8	サッカー (男子)	・個人技能を高めるとともに、集団技能・戦術を練習してゲームができるようにする。(サッカー) ・日本の民踊や伝統的な踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができるようにする。 ・各ショットの基本を身に付け、ラリーやゲームを楽しみながら体力の向上を図る。(テニス) ・基本技術を習得し、フライングの特色を理解してダブルスのゲームができるようにする。(バドミントン) ・攻撃的なストロークやカットによるラリーを習得し、ダブルスのゲームができるようにする。(卓球)			○	◎
	9	ダンス (男女)			○	◎	
	10	テニス (女子)			◎	○	
	11	バドミントン (女子)		○		◎	
	12	卓球 (女子)		◎		○	
三 学 期	1	体育理論 (男女)	・スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方や関わり方があることを理解させる。		○		◎
備 考	男子 ・体育理論、ダンス (必修) ソフトボール・サッカーからの選択 女子 ・体育理論、ダンス (必修) テニス・バドミントン・卓球からの選択						
評価の方法	・出席状況 ・①「関心・意欲・態度」は、授業の導入で行われる北高体操・補強・集団走での取組を中心に声の大きさ、他者との積極的な関わり準備・後片付けなどの姿勢を評価する。 ②「思考・判断」は、それぞれの種目の特性をよく考え、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動を実践し自己の課題に応じた取組ができているか評価する。 ③「技能」は運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けているか評価する。 ④「知識・理解」は運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する理論について理解しているか評価する。 以上4つの観点で総合的に評価する。						